



中原泉理事長・学長式辞

中国の歯科事情

私は三十年ほど前に中国に行った。その頃は中国には医学部が五十校と、歯学部が五校とあった。歯学部と一緒で、正確な数はわからなかった。ただ重点校といふのがあり、歯学部の場合は、四川の華西医科大学口腔医学院、北京大学口腔医学院、上海第二医科大学口腔医学院、それから第四軍医大学口腔医学院、この四校が重点校ということで、集中的に予算が組まれていた。歯科医師数も二万くらい、当時人口が十三億だったので、十三万人に歯科医師一人の勘定だった。

数年前に中国に行くと、医学部が八十校に増え、歯学部も増えたが何校増えたか分からない。親しい先生の話では、新設の歯学部は一年八百人入れているところがあるという。聞き違いかと思ひ、もう一度聞いたが、八百人をどうやって教育するのかと感した。その時も歯科医師数がどのくらいか分からなかったが、十万人に歯科医師一人というのが、今の中国本土の状況だろう。中国は大変だと思ひ、わが国も百年前には似たような状況だった。

年、東京歯科大学(現在の東京歯科大学)と歯科医学校は二校だった。全国で免許をもっている歯科医師は九百名だった。その当時人口は四千七百万人だったから、五万二千二人に歯科医師一人という状況が百年前のわが国だった。中国とあまり変わらなかった。官立の歯科大学を一つ一つと潰れていこうと診療所のシャッターを開けた。すると、患者さんが診察所の周りをグルグルと

き、大慌てした。国民からの要請が大変だった。昭和四十年に国立三校、四十二年に二校と、三年で国立五校をつくった。当時としては焼け石に水で、四十年代の前半に文部省、厚生省から内々に要請があった。例えば子どもの入学定員は当時百二十名だったが、三百人以上入れた。

一つの大学で定員が百二十名なのに、勝手に三百人入れることはあり得ないことだが、できたのは国の要請と後押しが



中原泉理事長・学長

私学の誇りと責任  
 中原泉理事長・学長：歯科医師が1千人前後だった明治40年代、歯科医師過少が叫ばれた昭和40年代に、私立の学校が国民の歯科医療に果たした役割を忘れてはならない…

出はじめた。将来、過剰になるという警鐘が識者の間から乱打されていた。昭和五十一年に国立の徳島、五十二年に鹿児島、五十四年に岡山、長崎大学が増設された。

歴史は繰り返す  
 したがって現在の需給問題は、国立四校が最後に新設されたことにある。現在二十九校となり、歯科医師九万人、人口は一億二千万人なので、千三百人に歯科医師一人と、数から言えばギリギリの状態である。そうすると現金なもので、私立が多すぎる、それはけしからんという大合唱が起こった。私に言わせると笑わせるなどということだが、これは誰が考えても歯科医師養成に対する国の無為無策が最大の原因であり、全てこれに尽きると言つてよい。

あと十年もすると歯科医師は減っていくが、歯

二巡していたので、慌ててシャッターを閉めたと言つていた。それが当時の普通の状況だった。

国立大歯学部の過増設  
 昭和四十年(一九六五)には歯科医師三万人、人口は一億だった。三三〇〇〇人に一人という勘定になる。しかし実質的な患者さんの数からいえば、五千人に一人という数になるかと思う。ここで初めて歯科医が少なすぎることに国が気づ

あつたからである。それが四、五年つづいたが、さすがに厚生省もこれではマズいと、次に出してきた案が内々に、伝統校が第二歯学部を作つてほしいという要請だった。

それに対応して、昭和四十年代の後半四十五年から四十八年の間に私立七校が新設された。本学もそれに協力し、歯科大学・歯学部は二十三校になった。昭和五十年ごろには、もうこれ以上作る

日本歯科大学姉妹校 (15か国18校)

- 1) 1971年 中山医学大学 (台湾)
- 2) 1984年 ミシガン大学 (アメリカ)
- 3) 1985年 パリ第7大学 (フランス)
- 4) 1985年 四川大学華西口腔医学院 (中国)
- 5) 1986年 ベルン大学 (スイス)
- 6) 1986年 ヘブライ大学 (イスラエル)
- 7) 1987年 プリティッシュ・コロンビア大学 (カナダ)
- 8) 1987年 マンチェスター大学 (イギリス)
- 9) 1988年 マヒドン大学 (タイ)
- 10) 1991年 トゥルク大学 (フィンランド)
- 11) 1992年 フィリピン大学 (フィリピン)
- 12) 1993年 ペンシルベニア大学 (アメリカ)
- 13) 1997年 アデレード大学 (オーストラリア)
- 14) 1997年 オタゴ大学 (ニュージーランド)
- 15) 2005年 モンゴル健康科学大学 (モンゴル)
- 16) 2008年 メリーランド大学 (アメリカ)
- 17) 2012年 香港大学 (中国)
- 18) 2015年 ダヌーベ・プリバード大学 (オーストリア)

日本歯科大学名誉博士号授与者

第1号	1964年	周 汝川 (台湾)
第2号	1969年	P.R.Begg (オーストラリア)
第3号	1999年	王 大章 (中国)
第4号	2000年	R.L.Christiansen (アメリカ)
第5号	2001年	S.Chuckpaiwong (タイ)
第6号	2002年	羽坂勇司 (日本)
第7号	2003年	A.Garfunkel (イスラエル)
第8号	2004年	N.C.Gervasio (フィリピン)
第9号	2005年	周 明勇 (台湾)
第10号	2007年	W.Suchato (タイ)
第11号	2007年	C.Suchtatlampong (タイ)
第12号	2008年	M.von Ludinghausen (ドイツ)
第13号	2010年	D.M.Brunette (カナダ)
第14号	2012年	J.M.Powers (アメリカ)
第15号	2012年	R.Happonen (フィンランド)
第16号	2013年	C.S.Stohler (アメリカ)
第17号	2014年	村上一枝 (日本)
第18号	2015年	飯塚建行 (スイス)

関係を通じて有意義な友好関係を築いていきたい。

私主任教授を務める頭蓋顎顔面外科学講座をはじめ、ベルン大学と日本歯科大学との交流が留学生を通して盛んになってきている。今日このような名誉のある称号をいただく、誠に光栄に思つた。これからも両大学が、姉妹校として有意義な友好関係を築いていきたい。

日本歯科大学と私

バルン大学医学部 頭蓋顎顔面外科学講座 飯塚 建行



日本歯科大学と私の関係は運命的なものがあつて、神様のお告げでないかと思うぐらい偶然が重なつている。私はドイツの大学の医師は減っていくが、歯科医師は少なすぎる、どこにかしろという騒ぎがまた起こってくる。今までの歴史の繰り返しからみて、私立大学になんとかしてほしいと泣きついてくるだろう。

一〇九周年にあたり申し上げたかったことは、本学は明治四十年代、そして昭和四十年代の歯科医師の超過少の時代に最大限の努力をし、国民の科医療を守つたということである。歯科医師の需要供給の百年の流れから国民歯科医療に本学は思い起こし、誇りと責任感を新たにしたい。

本紙は毎年、八回ほど発行していましたが、郵送料が高騰して一冊ずつお送りすることが難しくなりました。そこで、複数号を同封する

延ばしてもらつた。それから、日本歯科大学からバルンに留学するプログラムは最初から二年と決めて、みな充実した留学生生活を過ごしている。それまでは臨床留学が主流だったが、二〇一一年に中原賢先生が留学し

た。非常に独創的な留学の案を出してきたので、私の講座では最初の研究留学となった。中原賢先生に実験台になってもらい、研究留学生のシステムと制度をつくることのできた。この制度ができたお蔭で、スイス政府が外国人に与えている研究奨学制度によって、ブラジルと中国から一人ずつ私の講座に研究留学することが可能になった。

私が主任教授を務める頭蓋顎顔面外科学講座をはじめ、ベルン大学と日本歯科大学との交流が留学生を通して盛んになってきている。今日このような名誉のある称号をいただく、誠に光栄に思つた。これからも両大学が、姉妹校として有意義な友好関係を築いていきたい。

**Initial Treatment 感染根管治療**  
 ~必見!高齢で石灰化した歯の歯内療法の実際~

マイクロスコープ下で超音波チップとNiTiファイルを使った症例!

**北村和夫** 日本歯科大学附属病院 総合診療科 教授

商品番号 DE127-S 全1巻・70分10,000円+税(送料別)

3日間の治療の流れを収録し、その流れに沿って治療の詳細を紹介しています。実際の治療シーンとマイクロスコープの画面の両方を同時にリンクさせて見ることが出来るため、とても解り易い構成となっています。

JLCジャパンライム株式会社 Tel.03-5840-9980  
 東京都文京区本郷 5-25-14 本郷竹下ビル4F Fax.03-3818-6656  
 www.japanlaim.co.jp/ ジャパンライムDE127 検索

創立記念式典祝賀会

六月一日午後一時からホテルグランドパレス・白樺の間において、創立一〇九周年記念式典祝賀会が開催された。

109周年を言祝ぐ

ジュビリー5025 全国から集まる



「ジュビリー5025の企画とクラス会幹事の尽力で大勢の校友が集まった…」感謝の言葉を述べる、中原理事長・学長(上写真)と近藤校友会長(下写真)



同日ジュビリーの先生方の顔を拝見していると同時にクラス会の集まり



でもある。卒業五十年が五十四回、卒業二十五年が七十九回卒業となる。ジュビリーと同時にクラス会が集まり、二重の交流がさらに強まり、いい企画だと思っている。式典にもこんなにたくさん出席されたのは初めてのことだ。先生方にお目にかかれて喜んでいる。

大学創立109周年記念式典祝賀会



授と同級である。朝比奈敏行先生は三十七回の卒業で、病理の須賀昭一先生と同級だ。光安一夫先生は校友会の相談役なので、正月の賀詞交歓会にはみえる。四十七回の卒業である。このような大先輩にご臨席をいただき感激している」と述べた。

- 永年勤続者
三十年勤続表彰
(学校法人)
本山智子(経理部)
(附属病院)
石川明子(総合診療科3)
渡辺まり子(病院事務部)
(新潟生命歯学部)
三上克美(庶務部)
(新潟病院)

歓迎するなか、ジュビリーの各代表者から挨拶があった。卒業五十年のゴールドジュビリーは西田紘一名誉教授、卒業二十五年は歯学部七十九回卒の石垣佳希准教授、新潟歯学部七十九回卒の田中彰教授が挨拶を述べた。また富山県の五十四回卒・阿部輝夫先生は、子息の阿部一雄先生(七十九回)との親子参加となった。最後に沼部幸博理事が中締め言葉を述べ閉会した。

- 二十二年勤続表彰
(生命歯学部)
古西清司(微生物学)
河上智美(小児歯科学)
渡邊昌司(内科学)
(附属病院)
川村浩樹(総合診療科1)
濱田康弘(総合診療科3)
林宗廣(歯科放射線・口腔病理診断科)
山澤武司(歯科技工室)
嵐里子(病院事務部)
星麻衣子(病院事務部)
(東京短期大学)
横山和良(歯科技工学科)
(新潟生命歯学部)
横須賀宏之(解剖学II)

リ5025については、昨年の創立記念式典のときに少しお話をした。大学側とも話を進めていたが、理事長・学長の中原会頭が卒業五十年になる今年から実施しようという話になった。卒業五十年は赤い薔薇に金色のリボン、卒業二十五年は銀色のリボンをつけている。ジュビリー5025に、多くの参加者を集めていただいた各クラスの幹事の先生に心から感謝を申し上げたい。一〇九年を迎えた日本歯科大学がますます発展つづけ、ご参会のみなさまのご多幸、健康を祈念して乾杯したい」と述べた。



全国各地からクラスメイトたちが...



卒業70年プラチナジュビリー34回卒の齋藤貞雄先生(右)

朝比奈敏行先生

日歯有功章・日歯連盟功績章
本学第三十七回卒の朝比奈敏行先生(江戸川区)は、このたび日本歯科医師会会員有功章、および日本歯科医師連盟功績章を授章され、両会の最高賞をダブル受賞するという栄誉をえられた。先生は、今なお豊饒(かくしゃく)たる九十歳。



日歯会員有功章を胸に

朝比奈先生は、江戸川区歯科医師会々報に「受章の記」を掲載された。その一部、中原賞会長のものと、先生が広報担当の日歯常務理事のとき、マスコミの矢面に立った攻防戦の一端を抜萃します。

『昭和四十九年、五十年でマスコミ(特に厚生記者クラブ、朝日、毎日、読売、NHK、東京、産経など)は脱保険、自由診療の猛烈キャンペーンだ。昭和五十年五月号の「婦人公論」「歯科医の病根を探る」「脱保険、差額診療をめぐって爆発した国民の怒りと内紛を続ける歯科医師会。この混乱の中からつかみ出さねばならぬ望ましい歯科医療とは何か」この小見出しで雰囲気は解つてもらえると思います。厚生省記者クラブとは誠意で接した。東京新聞の有賀さん、読売の戸田さんなど多くの知己を得た。』

朝比奈敏行先生

日歯有功章・日歯連盟功績章
本学第三十七回卒の朝比奈敏行先生(江戸川区)は、このたび日本歯科医師会会員有功章、および日本歯科医師連盟功績章を授章され、両会の最高賞をダブル受賞するという栄誉をえられた。先生は、今なお豊饒(かくしゃく)たる九十歳。

朝比奈先生は、江戸川区歯科医師会々報に「受章の記」を掲載された。その一部、中原賞会長のものと、先生が広報担当の日歯常務理事のとき、マスコミの矢面に立った攻防戦の一端を抜萃します。

『昭和四十九年、五十年でマスコミ(特に厚生記者クラブ、朝日、毎日、読売、NHK、東京、産経など)は脱保険、自由診療の猛烈キャンペーンだ。昭和五十年五月号の「婦人公論」「歯科医の病根を探る」「脱保険、差額診療をめぐって爆発した国民の怒りと内紛を続ける歯科医師会。この混乱の中からつかみ出さねばならぬ望ましい歯科医療とは何か」この小見出しで雰囲気は解つてもらえると思います。厚生省記者クラブとは誠意で接した。東京新聞の有賀さん、読売の戸田さんなど多くの知己を得た。』



54回卒の西田名誉教授



79回卒の石垣准教授(左)と田中教授(右)



54回卒の西田名誉教授



親子で参加した阿部先生父子(写真中央)

# 東京都心の屋外運動場 10月末竣工

本学では、二〇〇九年に取得した新宿区筑土八幡町の校地に、フットサル兼テニスコートと、クラブハウス(通称「神楽坂上フィールド」)をこのたび新築することになった。六月十二日午前十一時

より、神楽坂上フィールド新築工事の地鎮祭が行われ、本学関係者や工事関係者三十余名が参列した。

神職による神事のあと、中原泉理事長・学長は、「本学の運動施設は、

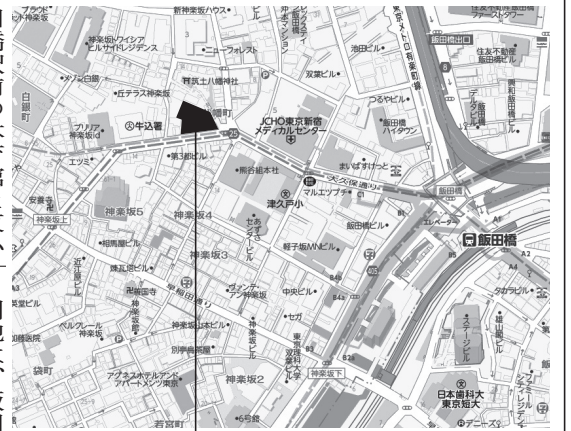
# 地鎮祭

## 神楽坂上フィールド

飯田橋



神前に工事の安全を祈願する中原泉理事長・学長



神楽坂上フィールド(新宿区筑土八幡町)  
都営「大江戸線」出口から徒歩5分  
2020年には放射25号線が開通する予定である

四一七・五坪の校地に、二十七×十五メートルのフットサル兼テニスコートと木造平屋建てのクラブハウスを建設する。コートは高さ七メートルのフェンスで囲う。クラブハウスは、八〇・八七m(約二十六・五坪)、屋外テラス、休憩室のほか、男女それぞれのシャワー室、更衣室、トイレを設備し、十月に完工を予定している。

### 日本歯科保存学会 市民公開講座 健康に感謝!それはお口から

11月1日 東京・九段ホール

特定非営利活動法人日本歯科保存学会では、十一月一日の日曜日、市民公開講座「健康に感謝!それはお口から」を開催する。実行委員長は生命歯学部 沼部幸博教授。生命歯学部が後援する。

十一月の富士見祭の当日開催される参加費無料

一時開場、一時半開演、三時終了予定でシンポジウム形式の講演が行われる。演題や演者は次の通り。

- 1、なぜ、かかりつけ歯科医がいると長生きか
- 2、(首都大学東京) 星 旦二(首都大学東京名誉教授 放送大学客員教授)
- 3、歯は一生持つように

市民公開講座は、午後一時開場、一時半開演、三時終了予定でシンポジウム形式の講演が行われる。演題や演者は次の通り。

健康に感謝! それはお口から

日本歯科保存学会 市民公開講座 11月1日(日)

13:00開場 13:30開演

会場 日本歯科大学生命歯学部 九段ホール

参加費 無料

1) なぜ、かかりつけ歯科医がいると長生きか  
2) 歯は一生持つようにできている。一失ふ歯で元気な一生~  
3) 歯周病予防で健康寿命アップ! ~全身の健康は口の中心から~

11月1日(日) 演者 星旦二(首都大学東京名誉教授 放送大学客員教授)

沼部幸博(生命歯学部 歯周病予防講座) 先生をお招きし、歯周病予防の重要性や、歯周病予防の最新情報などをお話いただきます。

お問い合わせ先 日本歯科大学生命歯学部 庶務課 TEL/FAX 03(3261)6097

# 中原實名誉学長の絵画を展示

## 江東区の東京都現代美術館の常設展示室

東京都現代美術館(江東区三好四一)の常設展示室では、十月十二日まで「戦後美術クローズアップ」展を開催

## 戦後美術クローズアップ

MOTコレクション  
Postwar Art in Close-Up  
Museum of Contemporary Art Tokyo, Collection Gallery

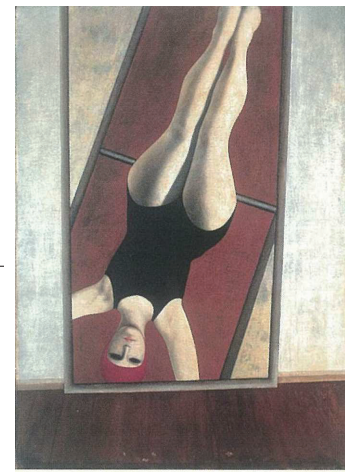
2015年7月18日(土) - 10月12日(月・祝)  
July 18 (Sat), 2015 - October 12 (Mon)

田橋駅前前の体育館と東小金井駅前のグラウンドがある。屋外でスポーツするためには、電車に乗って東小金井まで行かなくてはならなかった。この神楽坂上ならば、富士見のキャンパスから走って十分で来れる。学生諸君は、このフィールドの完成を大変楽しみにしている」と述べた。参加者一同は、工事の安全を祈願して神酒を拝戴した。

同地は、飯田橋駅西口の附属病院から徒歩十分の至近距離にある。大久保通りに面して、JCH O東京メディカルセンター(旧厚生年金病院)の向かい側で、都道をはさんで隣に筑土八幡神社が位置する。五年後には、すぐ脇に幅三十メートルの放射二十五号線が開通予定で現在工事中。神楽坂フィールドは、一三七七・九一m(約

各部屋ごとにテーマを決め、亀倉雄策や横尾忠則などの代表的な作品を展示しているが、最初の一室を「中原實」のコーナーにあてた。「乾坤」「海水浴」「兜の昇天」をはじめ中原實先生の作品十一点が並ぶ。

「大正・昭和モダンニズム」日本の前衛美術」という名称を冠した企画展に出展されることが多い中原作品だが、現代美術館に展示された一連の



初公開の「鏡の中の四次元空間」油彩キャンパス 108×82.5cm

作品群を見ると、現代の美術を牽引した力強さ、絵画が持つ時空を越えた生命力を感じさせる。

ら、三次元、四次元世界に入り込むような不思議な感覚をおぼえる。なお、上野公園内の東京都美術館で九月六日まで開催中の「伝説の洋画家たち」二科100年展には、中原實先生の「モジリアニの美しき家婦」が

岡田教授(新潟・病理) 外傷歯学会 優秀賞

新潟生命歯学部病理学講座の岡田康男教授に写真IIは、日本外傷歯学会より平成二十七年優秀論文に選考され、七月十一日に「優秀発表賞」を授与された。表彰式は第十五回日本外傷歯学会(第七回アジア国際外傷歯学会との合同学術大会)の創立十五周年記念式典、総会に引き続いて行われた。

受賞論文は「日本外傷歯学会雑誌」第十巻一号掲載の「垂直性歯根骨折歯20検体の病理組織学的研究」。垂直性歯根骨折に関する研究成果で、骨折面、周囲組織の病態と歯槽骨吸収の機序について明らかにした。

### 日本歯科大学・セントラルクリニック 歯髄細胞バンク認定医講習会(後期)

第5回 11月26日(木) 19:00~21:00  
第6回 12月2日(水) 19:00~21:00  
第7回 12月6日(日) 13:00~15:00

○会場: 生命歯学部 九段ホール(東京)  
○費用: 無料  
○問合せ: 日本歯科大学生命歯学部庶務部(歯髄細胞バンク) 03-3261-8626  
FAX申込み 03-3264-8399

新潟病院・医科病院 ロビーコンサート

七月十四日午後四時から新潟病院と医科病院の総合ホールで、第二回ロビーコンサート「初夏のジャズ・シネマ」が

演奏は新潟市を拠点に活動する経麻朗(きょうまろう)ジャズデュオ。「いそしぎ」や「サウンドオブミュージック」など往年の映画音楽を中心に、ギターと電子ピアノの調べが心地よく病院ロビーに響いた。

## 歯的博物館

大野 肅英(神奈川県歯科医師会歯的博物館館長)  
羽坂 勇司(神奈川県歯科医師会歯的博物館特別委員)  
高橋 紀樹(神奈川県歯科医師会会長) 著

A4判 104頁 定価5,616円(税込) わかば出版

本書は、雑誌 nico(クインテッセンス出版発行)に3年間連載したものをもとに、加筆したものです。著書らが2011年に発行した「目で見る日本と西洋の歯に関する歴史」は、410頁に及ぶ大書でしたが、今回は楽しく、読んでおもしろい、肩のこらない「歯の歴史の博物館」への旅に、読者をご案内いたします。待合室に置いていただければ、治療前の患者さんにもリラックスしていただける、楽しい本です。また、英文サマリーもついておりますので、外国の方へのプレゼントにもご利用いただけます。